ハンドヘルド CCD ガンスキャナ

Quickscan I

取扱説明書 Ver1.10

IDEC DATALOGIC株式会社

はじめに

このたびはハンドヘルドレーザガンスキャナ QuickScan I をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本取扱説明書では QuickScan I の操作方法と外部機器との接続に基づく内容を記載しておりますので、必ずご一読いただきますようにお願いします。なお、バーコードによる内部パラメータの設定方法は、別冊「バーコードメニューシート QuickScan I」に記載していますので、そちらを参照して下さい。

ご注意

（1）本書の内容の全部または一部を無断で転載することは禁止されています。
（2）本書の内容に関しては改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。
（3）本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り記載漏れなどお気付きのことがございましたら巻末記載の弊社担当窓口までご連絡くださるようお願いいたします。
（4）運用した結果の影響については（3）項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承下さい。

梱包内容

製品がお手元に届きましたら、すぐに開梱をして、以下のものがそろっているか確認をして下さい。
もし、不足・破損等がありましたら、ご購入先の販売店、もしくは巻末の弊社営業担当窓口までご連絡をお願いします。

1.	QuickScan I 本体	1
2.	QuickScan I 取扱説明書	1 ＊
3.	バーコードメニューシート QuickScan I	1 ＊

＊（通常、複数台をご購入の際は 1 セット分のみ同梱しています。複数部をご希望の際は、ご注文時にお申し付け下さい。）

表記について

本書では、バーコードリーダを正しくお使い頂くための重要な情報について以下の様な記号を用いています。

機器の破損や不具合の原因となる可能性がある事柄

目次

1. 各部の名称

2. QuickScan I の特長

QuickScan I はガンスタイルの快適な操作性でバーコード読み取りが可能なハンドヘルド CCD スキャナです。
小型・軽量ながら最大読み取り距離 650mm(細バー 0.5mm の時) という読み取り性能を発揮して、その他に、

- GS1 DATABAR Family 等の様々なバーコードシンボルの読み取りが可能
- 読み取り完了を緑色スポット光の表示により目視での確認が容易
- RS232/USB/PS2 のマルチインターフェイス仕様
- 100 万回を超えるトリガー性能

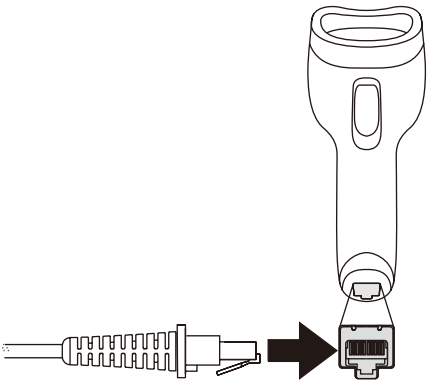
という特長を有しています。

3. 型番一覧とアクセサリ

型式	仕様
QD2130-WH	ハンドヘルド CCD ガンスキャナ、マルチインターフェイス

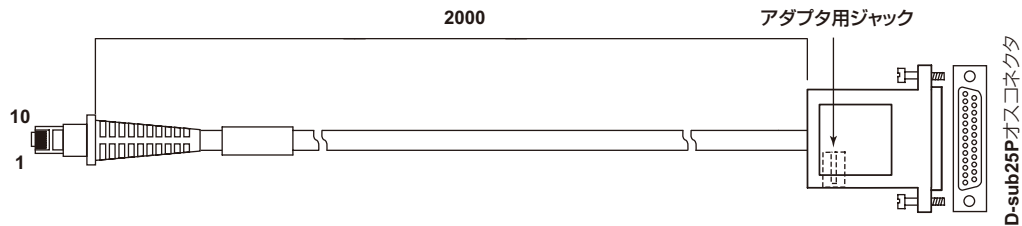
型式	仕様
11-0387	専用 AC アダプタ（AC100V-240V 用）
STD-QD20-WH	自動読み取りスタンド
11-0362	ユニバーサル樹脂ホルダー
CAB-320	RS232 ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ用、D-sub25 オスストレートケーブル
CAB-321	PS/2 ｷｰﾎﾞｰﾄﾞｳｴｯｼﾞ Y 字、ミニ DIN ストレートケーブル
CAB-328	RS232 ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ用、D-sub25 メスストレートケーブル
CAB-350	RS232 ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ用、D-sub9 メスストレートケーブル (電源ピン有り)
CAB-364	RS232 ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ用、D-sub25 オスカールケーブル
CAB-365	PS/2 ｷｰﾎﾞｰﾄﾞｳｴｯｼﾞ Y 字、ミニ DIN カールケーブル
CAB-362	RS232 ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ用、D-sub9 メスカールケーブル
CAB-363	RS232 ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ用、D-sub25 メスカールケーブル
CAB-408	RS232 ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ用、D-sub9 メスカールケーブル (電源ピン有り)
CAB-408 SH3022	RS232 ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ用、D-sub9 オスカールケーブル (電源ピン有り、ｱﾀﾞﾌﾟﾀｼﾞｬｯｸ無し)
CAB-408 SH3970	RS232 ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ用、D-sub9 メスカールロングケーブル (電源ピン有り)
CAB-412	USB-TYPE A ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ用ストレートケーブル (ｱﾀﾞﾌﾟﾀｼﾞｬｯｸ有り)
CAB-426	USB-TYPE A ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ用ストレートケーブル (ｱﾀﾞﾌﾟﾀｼﾞｬｯｸ無し)
CAB-426 SH4043	USB-TYPE A ｲﾝﾀｰﾌｪｲｽ用ストレートケーブル (ｱﾀﾞﾌﾟﾀｼﾞｬｯｸ無し)

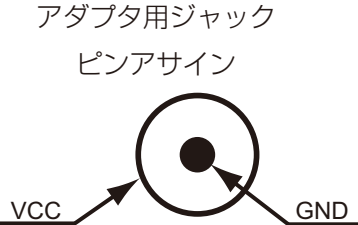
4. セットアップ方法 (RS232 インターフェイスの場合)

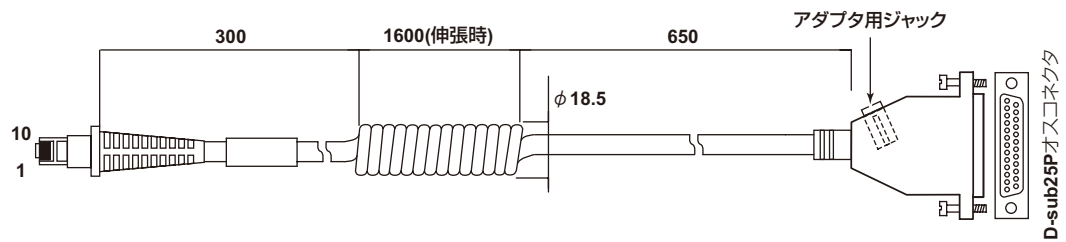
1. QuickScan I とインターフェイス
 ケーブルを接続します。
 (接続はジャック式となっていますので、本体
 後部の差込口にケーブルのコネクタ部を
 “カチッ”と音がするまで強く押し込みます。)

注意 コネクタを差し込む場合には、方向に気を付けて真っ直ぐに押し込んで下さい。方向が違っていたり、曲がって差し込むと、コネクタ部が破損して、動作不良の原因となります。

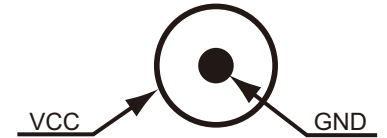
2. ケーブルの出力側コネクタと接続機器のコネクタの形状・配線が正しくなっているかピンアサインを確認して、機器と接続します。

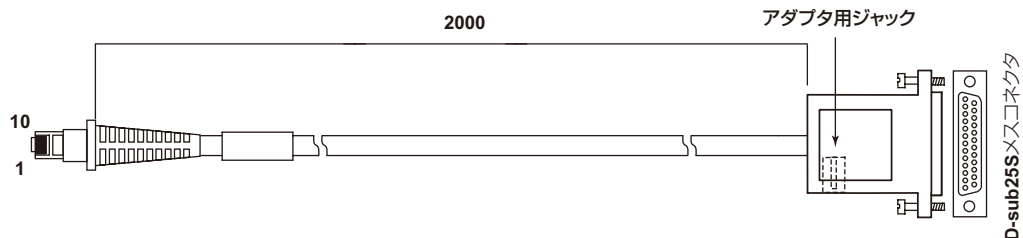
注意 必ず接続機器の電源を OFF にしてから、接続を行って下さい。

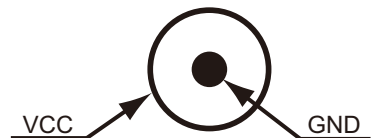
● CAB320

ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	CABLE-SHIELD		ケーブルシールド
2	TXD	出力	シリアル出力
3	RXD	入力	シリアル入力
4	RTS	出力	送信要求
5	CTS	入力	送信可
6	N.C.		未接続
7	GND		シグナルグランド
8 ～ 24	N.C.		未接続
25	VCC（＊）		電源供給

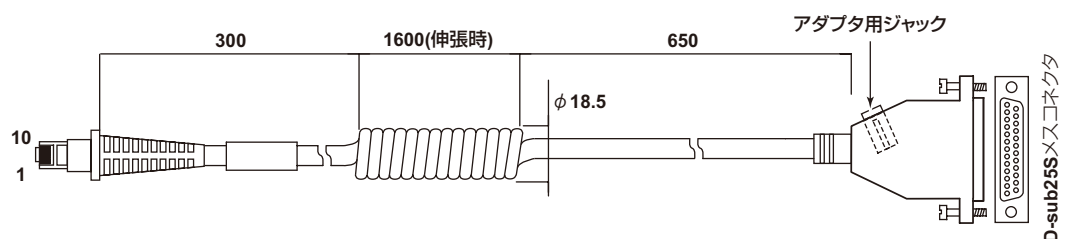
アダプタ用ジャック
ピンアサイン

(＊) アダプタ用ジャックに電源が差し込まれているいる場合には、D-sub コネクタからの電源供給はできません。

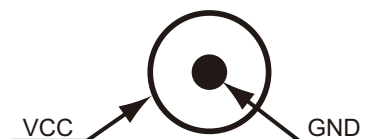
● CAB364

ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	CABLE-SHIELD		ケーブルシールド
2	TXD	出力	シリアル出力
3	RXD	入力	シリアル入力
4	RTS	出力	送信要求
5	CTS	入力	送信可
6	N.C.		未接続
7	GND		シグナルグランド
8 ～ 24	N.C.		未接続
25	VCC（＊）		電源供給

アダプタ用ジャック
ピンアサイン

(＊) アダプタ用ジャックに電源が差し込まれているいる場合には、D-sub コネクタからの電源供給はできません。

● CAB328

ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	CABLE-SHIELD		ケーブルシールド
2	RXD	入力	シリアル入力
3	TXD	出力	シリアル出力
4	CTS	入力	送信可
5	RTS	出力	送信要求
6	N.C.		未接続
7	GND		シグナルグランド
8 ～ 24	N.C.		未接続
25	VCC（＊）		電源供給

アダプタ用ジャック
ピンアサイン

(＊) アダプタ用ジャックに電源が差し込まれているいる場合には、D-sub コネクタからの電源供給はできません。

● CAB363

ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	CABLE-SHIELD		ケーブルシールド
2	RXD	入力	シリアル入力
3	TXD	出力	シリアル出力
4	CTS	入力	送信可
5	RTS	出力	送信要求
6	N.C.		未接続
7	GND		シグナルグランド
8 ～ 24	N.C.		未接続
25	VCC（＊）		電源供給

アダプタ用ジャック
ピンアサイン

(＊) アダプタ用ジャックに電源が差し込まれているいる場合には、D-sub コネクタからの電源供給はできません。

● CAB362

ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	N.C.		未接続
2	TXD	出力	シリアル出力
3	RXD	入力	シリアル入力
4	N.C.		未接続
5	GND		シグナルグランド
6	N.C.		未接続
7	CTS	入力	送信可
8	RTS	出力	送信要求
9	N.C.		未接続

アダプタ用ジャック
ピンアサイン

● CAB350

ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	N.C.		未接続
2	TXD	出力	シリアル出力
3	RXD	入力	シリアル入力
4	N.C.		未接続
5	GND		シグナルグランド
6	N.C.		未接続
7	CTS	入力	送信可
8	RTS	出力	送信要求
9	VCC（*）		電源供給

アダプタ用ジャック
ピンアサイン

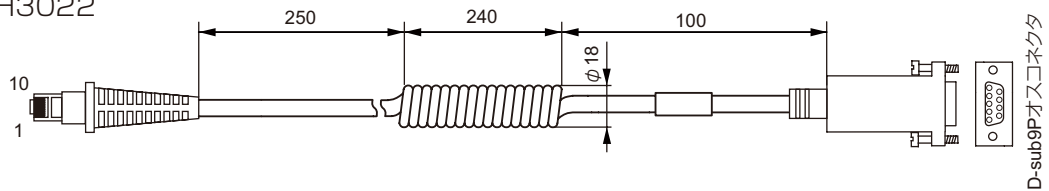
(*) アダプタ用ジャックに電源が差し込まれているいる場合には、D-sub コネクタからの電源供給はできません。

● CAB408

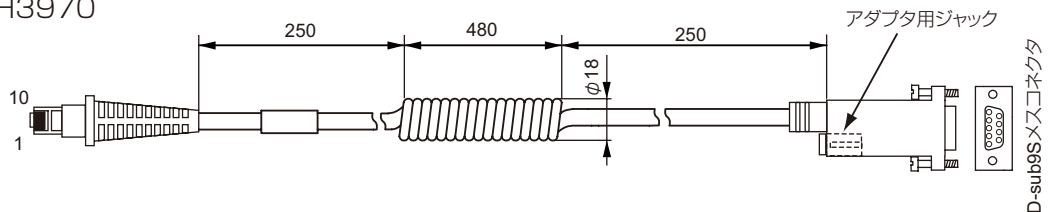
ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	N.C.		未接続
2	TXD	出力	シリアル出力
3	RXD	入力	シリアル入力
4	N.C.		未接続
5	GND		シグナルグランド
6	N.C.		未接続
7	CTS	入力	送信可
8	RTS	出力	送信要求
9	VCC（*）		電源供給

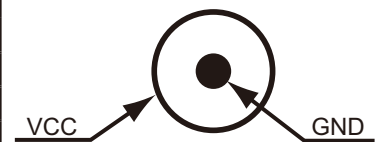
アダプタ用ジャック
ピンアサイン

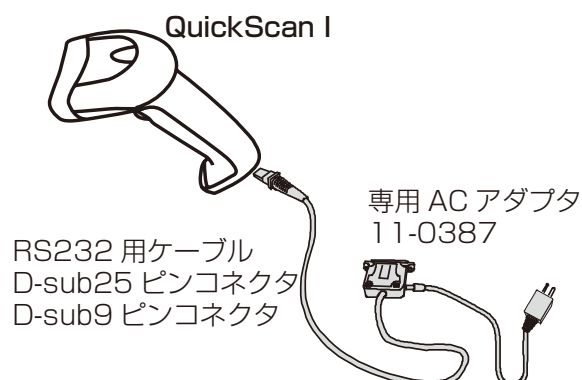
(*) アダプタ用ジャックに電源が差し込まれているいる場合には、D-sub コネクタからの電源供給はできません。

● CAB408 SH3022

ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	N.C.		未接続
2	TXD	出力	シリアル出力
3	RXD	入力	シリアル入力
4	N.C.		未接続
5	GND		シグナルグランド
6	N.C.		未接続
7	CTS	入力	送信可
8	RTS	出力	送信要求
9	VCC		電源供給

(注)DC 電源は必ず、コネクタの 9 番ピンに (＋) でコネクタの 5 番ピンに (−) を供給して下さい。

● CAB408 SH3970

ピン No.	信号名	入出力	信号名
1	N.C.		未接続
2	TXD	出力	シリアル出力
3	RXD	入力	シリアル入力
4	N.C.		未接続
5	GND		シグナルグランド
6	N.C.		未接続
7	CTS	入力	送信可
8	RTS	出力	送信要求
9	VCC（＊）		電源供給

アダプタ用ジャック
ピンアサイン

(＊) アダプタ用ジャックに電源が差し込まれているいる場合には、D-sub コネクタからの電源供給はできません。

3. 接続機器からスキャナへ電源供給がない場合や供給される電源容量が足りない場合には、QuickScanI の D-sub コネクタカバーにある、AC アダプタ用ジャックに別売の専用 AC アダプタ (11-0387) を接続します。

注意
電源投入時に QuickScan I の高音ブザーが " ピピピピ " と 4 回鳴ることを確認して下さい。もしブザー音が鳴らなかったり、その他のブザー音がした場合は QuickScan I の動作に問題がありますので「12. トラブルシューティング」の章を参照して下さい。

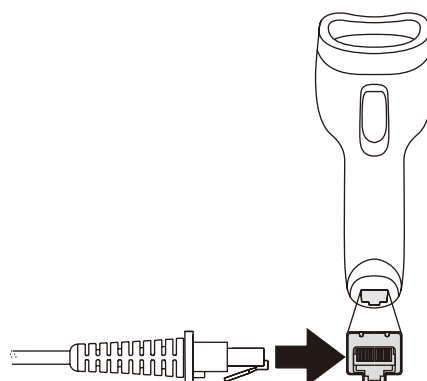
4. 以下のバーコードを読み取ると RS232 インターフェイスでの通信が可能となりますので、使用するインターフェイスに応じたパラメータをバーコードメニューシートのバーコードを使って設定を行って下さい。

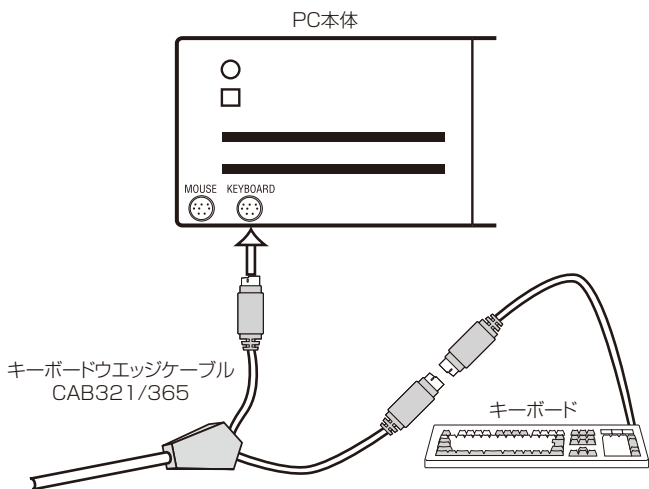
注意
初期設定値は「11. 初期設定について」の章を参照して下さい。また、設定変更する場合には、別冊「バーコードメニューシート QuickScan I」を使用して下さい。

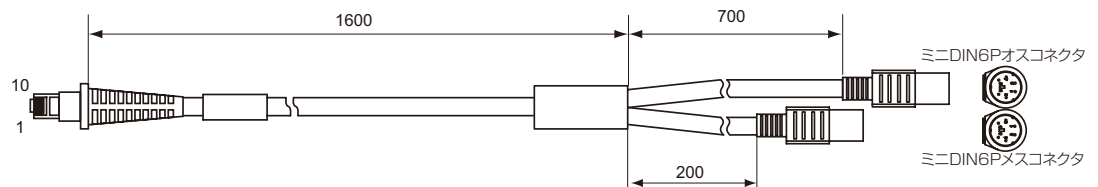
5. 接続機器の電源を ON にして、実際にバーコードの読み取りを行い、読み取りデータが正常に接続機器へ送信されるか確認をします。

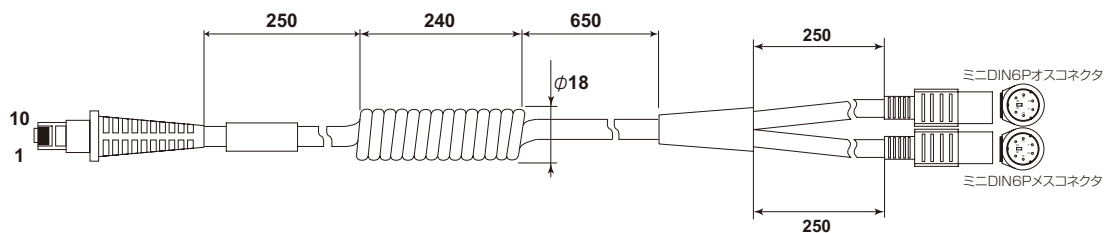
正常に読み取りデータが送信されない場合は、「12. トラブルシューティング」の章を参照して下さい。

5. セットアップ方法 (PS/2 インターフェイスの場合)

1. QuickScan I とインターフェイスケーブルを接続します。
(接続はジャック式となっていますので、本体後部の差込口にケーブルのコネクタ部を“カチッ”と音がするまで強く押し込みます。)

コネクタを差し込む場合には、方向に気を付けて真っ直ぐに押し込んで下さい。方向が違っていたり、曲がって差し込むと、コネクタ部が破損して、動作不良の原因となります。

2. 以下の図の様にケーブルのオス側のコネクタを PC 本体のコネクタに接続して、もう一方のメス側のコネクタをキーボードケーブルの先端のコネクタに接続します。

・ケーブルの接続時は PC の電源を OFF にした状態で接続を行ってください。PC の電源が ON のまま、ケーブルの接続を行うと、通信が不安定になり QuickScan I から送信されるデータが PC に入力できない場合もあります。
・PC の電源投入時に QuickScan I の高音ブザーが“ピピピピ”と４回鳴ることを確認して下さい。
・ブザー音が鳴らなかったり、その他のブザー音がした場合は QuickScan I の動作に問題がありますので「12. トラブルシューティング」の章を参照して下さい。

● CAB321

ミニ DIN6P オスコネクタ (CPU 側)		ミニ DIN6P メスコネクタ (KBD 側)	
ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
1	DATA_OUT	1	DATA_IN
2	N.C.	2	N.C.
3	GND	3	GND
4	VCC	4	VCC
5	N.C.	5	N.C.
6	CLK_OUT	6	CLK_IN

● CAB365

ミニ DIN6P オスコネクタ (CPU 側)		ミニ DIN6P メスコネクタ (KBD 側)	
ピン No.	信号名	ピン No.	信号名
1	DATA_OUT	1	DATA_IN
2	N.C.	2	N.C.
3	GND	3	GND
4	VCC	4	VCC
5	N.C.	5	N.C.
6	CLK_OUT	6	CLK_IN

3. PC の電源を ON にして、接続機種に応じた以下のバーコードを読み取ると PS/2 インターフェイスでの使用が可能な設定となります。

●標準キーボード

●拡張キー無し

キーボード言語の設定

●日本語 106 キーボード

●英語キーボード

4. PC を再起動してから、使用するアプリケーションで実際に読み取ったバーコードデータが正しく表示されるか、キーボードから入力するデータが正しく表示されるか確認をします。もし、上記の設定で読み取りデータが正しく表示されない場合には、以下のバーコード設定を読ませて、正しく表示されるか確認して下さい。

PC を再起動せずに QuickScan I を使用した場合、PC の機種によっては正しくデータが入力されない場合がありますので、必ず再起動をして QuickScan I を使用して下さい。

PS/2 インターフェイスの設定

●標準キーボード (ALT モード)

●拡張キー無し (ALT モード)

● PS/2 インターフェイスでご使用の場合の注意事項

PS/2 インターフェイスでは PC の機種によって、正しく設定をしても QuickScan I の読み取りデータが PC に入力できない場合があります。その場合は「13. トラブルシューティング」の章を参照して下さい。

6. セットアップ方法 (USB インターフェイスの場合)

1. QuickScan I とインターフェイスケーブルを接続します。

(接続はジャック式となっていますので、本体後部の差込口にケーブルのコネクタ部を“カチッ”と音がするまで強く押し込みます。)

コネクタを差し込む場合には、方向に気を付けて真っ直ぐに押し込んで下さい。方向が違っていたり、曲がって差し込むと、コネクタ部が破損して、動作不良の原因となります。

2. ケーブルのコネクタを PC 本体の USB コネクタに接続すると、QuickScan I の上部の LED が点滅して、PC のプラグアンドプレイ機能が起動します。PC での認識が完了すると QuickScan I の高音ブザーが“ピピピピ”と 4 回鳴り、バーコードの読み取りが可能となります。

・WINDOWS NT/2000/XP については上記の手順にて自動的にドライバーソフトが認識されますが、WINDOWS 98SE についてはシステムのインストールディスクが必要となりますので、注意して下さい。
・PC が認識できない場合には QuickScan I の上部の LED が点滅状態のままとなり、バーコードの読み取りもできない状態となります。

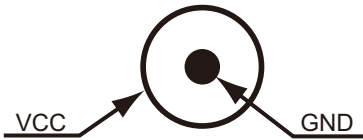
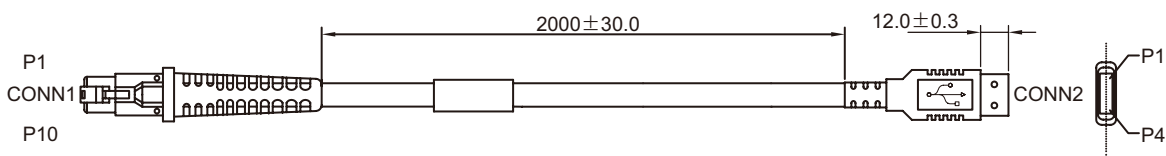
USB キーボードインターフェイスの設定

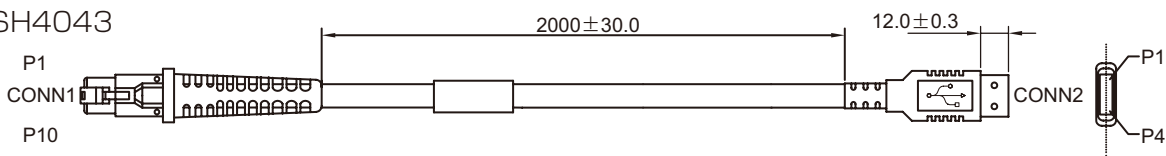
● Windows キーボード

● Machintosh キーボード

● CAB412

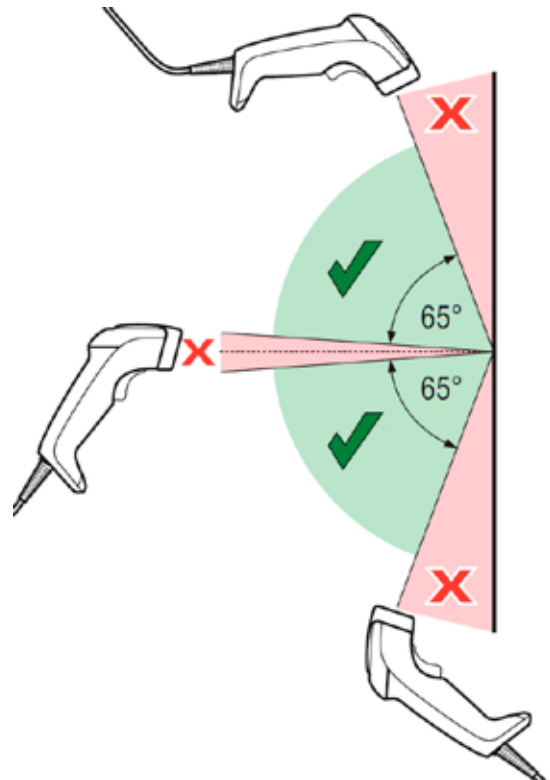
CONN2	
ピン No.	信号名
1	VCC
2	D −
3	D +
4	GND

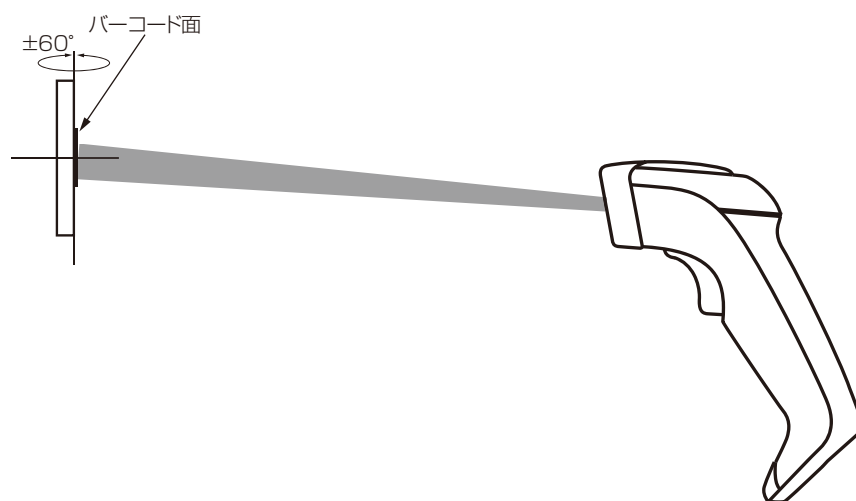
アダプタ用ジャックピンアサイン

● CAB426

CONN2	
ピン No.	信号名
1	VCC
2	D −
3	D +
4	GND

● CAB426 SH4043

CONN2	
ピン No.	信号名
1	VCC
2	D −
3	D +
4	GND・SHIELD

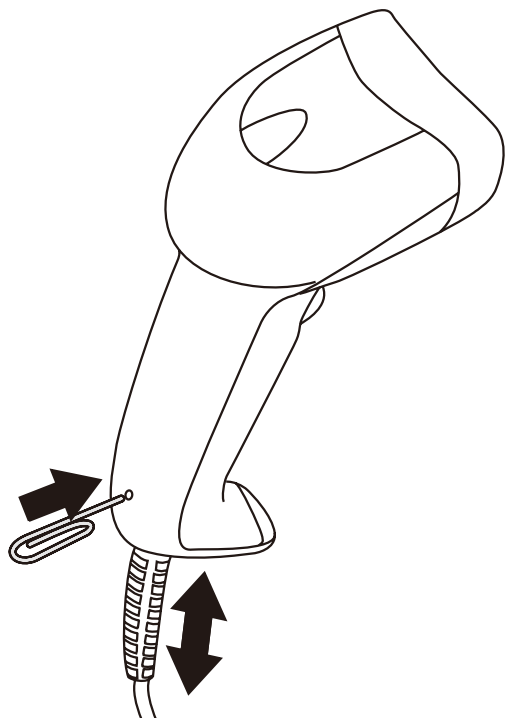
7. 読み取り操作方法

QuickScan I はトリガースイッチを押すことにより赤色 LED が点灯して自動的にバーコードをスキャンします。QuickScan I でバーコードを読み取る時は、図 1 の様にバーコード面に対して、垂直線から± 5゜～± 65゜の角度で LED をバーコードに当てるのが理想的です。± 5゜以下の範囲で LED をバーコードに当てた場合は、バーコードラベルからの直接反射により、読み取り性能が低下する場合がありますまた、LED は図 2 のようにバーコードを垂直に横切るようにスキャンさせると安定した読み取りが可能となります。更に、QuickScan I は図 3 のようにバーコードラベルとできる限り平行な角度で読み取りを行う様にして下さい。バーコードラベルから極端な角度を付けて読み取りを行うと、読み取りエリア内であっても読み取りができない場合もあります。

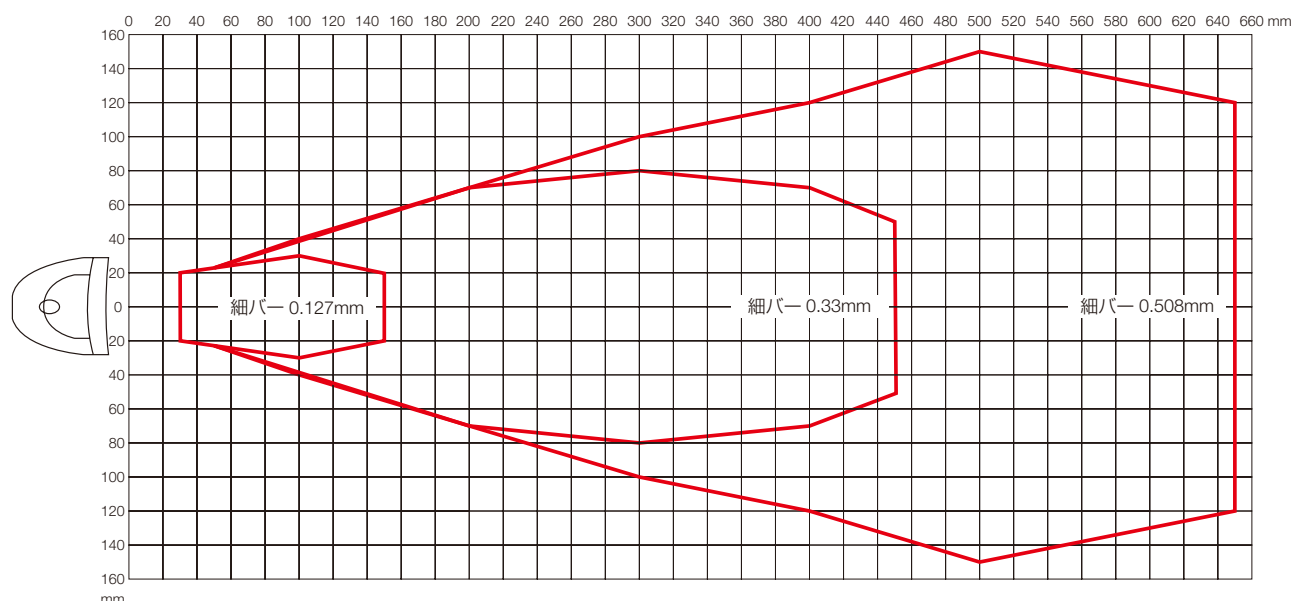
＜図 1 読み取り角度図＞

＜図 2 スキャンライン図＞

＜図 3 ピッチ角図＞

8. ケーブルの外し方について

QuickScan I のケーブルを外す場合には、下図の様にケーブルロック解除用ピン差込口にゼムクリップの先等を差し込んで、モジュラージャックのロックを解除しながら、ケーブルを引っぱると簡単に外れます。

1. ここにピンの先端を差込口に差し込んでモジュラージャックのロックを解除します。
2. ケーブルを矢印の方向に引っぱり、コネクタを外します。

ケーブルを引っぱっても簡単にケーブルが外れない場合は、モジュラージャックのロックが完全に解除されていない可能性がありますので、再度ピン差込口からロック部の解除を行って下さい。無理な力でケーブルを引っぱって抜こうとすると、ケーブルの断線等の原因となりますので、ご注意願います。

9. 読み取りエリア図

QuickScan I はバーコードラベルの仕様によって読み取りが可能なエリアが異なります。この章ではバーコードラベルの仕様による読み取りエリア図を表記していますので、ご使用時にはこのエリア内で読み取りを行う様にして下さい。

10. LED とブザー音の表示について

QuickScanI は LED とブザー音にて、様々な動作状態を知らせます。また、QuickScanI はパラメータ設定によりブザーの音量と音程を制御することが可能です。詳細は別冊「バーコードメニューシート QuickScan I」を参照して下さい。

動作内容	詳細	ＬＥＤの状態	ブザー音
電源 ON(RS232)	スキャナへ電源供給時	反応なし	ピピピピ
電源 ON(USB)	コネクタ接続時	点滅	反応無し
	USB ドライバー認識完了	消灯	ピピピピ
電源 ON(PS/2)	コネクタ接続時	反応なし	ピピピピ
バーコード読み取り成功	スキャナがバーコードの読み取りを成功した時	2 秒間の LED 点灯（初期設定）メニューシートにて LED の点灯時間調整は可能	1 度のブザー音（音色の変更可）
グリーンスポット一瞬の点灯			
グリーンスポット点灯時	スタンドモード、あるいはバー検知モードの設定時	反応なし	反応なし
ROM 書き込みエラー	間違ったコマンドをスキャナへ送信した場合	一度だけ点滅	1 度のエラーブザー音
設定開始バーコード読み取り成功	プログラミングモードの読み取り時	LED は一定周期でプログラミングモードから抜けるまで点滅	ブブブブ
設定バーコード拒否	スキャナが設定バーコードを何らかの要因で受け付けなかった時	反応なし	ブブブ
設定バーコード読み取り成功	例えばデータフォーマットの設定でヘッダーの設定を行う際に英数字のバーコードを読んだ時	点滅	ピ
設定終了バーコード読み取り成功	設定が完了しプログラミングモードから抜ける時	消灯	ピ　ブブブブ ピピピピ

＊ピ：高い音程のブザー音　　プ：低い音程のブザー音

11. 初期設定について

QuickScan I の初期設定値は以下の通りです。もし、ご使用の条件にこの設定が合わない場合は、
別冊「バーコードメニューシート QuickScan I」を使って設定を変更して下さい。

初期設定用バーコード

項目		初期設定値
	ホストコマンド受信	受信許可
RS232 インターフェイス	通信ボーレートの設定	9600bps
	パリティの設定	無し
	データビット長の設定	8 ビット
	ストップビット長の設定	1 ビット
	ハンドシェイクの設定	RTS 監視
	キャラクタ間ディレー時間	無効
	ACK/NAK プロトコルの設定	無効
USB キーボード	キーボード言語	USA キーボード
	コード間ディレー時間	無効
	USB キーボード速度設定	1msec
PS2 キーボード	キーボード言語	USA キーボード
	コード間ディレー時間	無効
	Caps Lock キー設定	Caps Lock OFF
	Numlock キー設定	Numlock キー無効
	キャラクタ間ディレー時間	無効
リーディングパラメータ	スキャンモード	トリガー / シングルスキャン
	スタンドモード時 LED 点滅動作	無効
	グッドリード表示タイミング	デコード後
	スキャニング可動時間	5sec
	光源の ON 時間の設定	1sec
	光源の OFF 時間の設定	0.6sec
	読み取り完了表示 LED 点灯時間	2sec
	緑色スポット光点灯時間	SHORT (300msec)
	読み取り完了時ブザー音タイプ	シングルトーンブザー
	読み取り完了時ブザー音量	大
	次のラベル読み取りまでの時間設定	160msec
	2 度読み防止タイマー時間の設定	400msec
	スリープモードの設定	無効
データフォーマット	ヘッダーキャラクタの設定	ヘッダー無し
	ターミネータキャラクタの設定	(CR)
	コード ID 付加機能	無効
読み取りコード	EAN 8/EAN 13/UPC-A/UPC-E	読み取り許可 (アドオンコードは読み取り禁止)
	EAN8/EAN13/UPC-A/UPC-E チェックデジット	送信許可
	コード変換機能の設定	無効
	CODE39 スタンダード	チェックデジット無しで読み取り許可
	読み取り桁数の設定	フリー (01 から 50)
	CODE128	CODE128 の読み取り許可
	EAN128 コードのデータ送信フォーマット	EAN128 コードを EAN128 フォーマットで送信
	読み取り桁数の設定	フリー (01 から 80)
	読み取りコード設定 4	設定無し
	読み取りコード設定 5	設定無し

12. トラブルシューティング

この章では QuickScan I が正常に動作しない場合に、確認する事項について記載しています。もしこれらの事項の確認後、正常な動作をしない場合は、お手数ですが巻末の弊社営業担当窓口までお問い合わせをお願いします。

1. 電源を ON にしても動作しない。(トリガースイッチを押しても読み取り窓から LED が点灯しない)

電源 ON 時に QuickScan I からブザー音が鳴らない。

● RS232 インターフェイスで使用の場合

⇒使用電源は QuickScan I の仕様に合っていますか？

◆電源の極性・電圧・容量を仕様に合わせて下さい。または 11-0387 を使用して下さい。

⇒通信ケーブルの外部電源用のソケットとプラグが完全に接続されていますか？

◆プラグを奥まで完全に接続して下さい。

⇒通信ケーブルのモジュラープラグが完全に QuickScan I に接続されていますか？

◆モジュラープラグのツメが「カチッ」と鳴るまでケーブルを完全に接続して下さい。

⇒ケーブルが断線または接触不良になっていませんか？

◆ケーブルを新しいものと交換して下さい。

●キーボードウエッジで使用の場合

⇒キーボードウエッジのケーブルはご使用のパソコンに対応していますか？

◆対応しているケーブルを使用して下さい。

⇒通信ケーブルのミニ DIN コネクタは全て PC 本体とキーボードに接続されていますか？

◆ミニ DIN コネクタを全て完全に接続して下さい。

⇒通信ケーブルのモジュラープラグが完全に QuickScan I に接続されていますか？

◆モジュラープラグのツメが「カチッ」と鳴るまでケーブルを完全に接続して下さい。

⇒ケーブルが断線または接触不良になっていませんか？

◆ケーブルを新しいものと交換して下さい

電源 ON 時に QuickScan I からブザー音が鳴っている。

⇒ " ピピピピ " と高音で 4 回鳴っている

◆ QuickScan I は正常に動作できます。

⇒ " その他のブザー音が鳴っている

◆ QuickScan I の内部に問題があります。(修理が必要です。)

2. トリガースイッチを押さなくても LED が点灯する。

⇒ QuickScan I の設定がトリガースイッチを使用しない設定になっていませんか？

◆ QuickScan I の設定をトリガースイッチを使用する設定にして下さい。

3.LED は点灯しているがバーコード読み取りができない。

⇒読み取り距離や読み取り角度は QuickScan I の仕様の範囲内にありますか？

◆バーコードを QuickScan I の仕様の範囲内に移動させて下さい。

⇒ QuickScan I の設定でバーコードシンボルが正しく設定されていますか？

◆ QuickScan I の読み取りバーコードの設定を使用しているバーコードシンボルに合わせて下さい。

⇒使用しているバーコードの品質に問題がありませんか？

◆バーコードの品質を改善して下さい。

4. 読み取ったバーコードデータが送信されない。

● RS232 インターフェイスで使用の場合

⇒インターフェイスのパラメータは接続機器の仕様に合っていますか？

◆ QuickScan I のパラメータを接続機器の仕様に合わせて下さい。

⇒ケーブルの各信号線は接続機器の仕様に合っていますか？

◆接続機器の信号線を QuickScan I の仕様に合わせて下さい。

⇒ケーブルが断線または接触不良になっていませんか？

◆ケーブルを新しいものと交換して下さい。

●キーボードウエッジで使用の場合

⇒接続している PC のタイプと設定が合っていますか？

◆ QuickScan I の設定を PC のタイプに合わせて下さい。

⇒接続している PC のキーボードから入力できますか？

◆ PC 本体の電源を一度 OFF にしてから再度 ON にして下さい。

⇒データの送信速度が速すぎませんか？

◆別冊の「バーコードメニューシート QuickScan I」の「キャラクター間ディレー時間」の設定を変更してディレー (遅延) 時間を発生させて PC 側の処理時間に合わせて下さい。

5. 以上の処置を行った後でも、状況が変わらない。

何らかの故障の場合もありますので、お手数ですが巻末の弊社担当窓口までご連絡をお願いします。

13. 保守

QuickScan I の読み取り窓が汚れている場合、読み取り性能が低下しますので、
以下の方法にて清掃を行って下さい。

・水や無水アルコール等で湿らせた柔らかい布等で軽く汚れを拭き取って下さい。

14. 仕様

電源電圧	DC5V ±10%	
消費電流	190mA未満 (スタンバイ時),345mA (読み取り時)	
光源 / 波長	赤色LED / 617nm	
スキャン速度	270スキャン/秒	
最小分解能	0.102mm	
最小PCS値	15%	
ピッチ角 / スキュー角	±65° / ±65°	
読み取りコード	ITF,Code39,Code128/EAN128,JAN/EAN/UPC,書籍コード,Codabar GS1 DATABAR Family等	
通信インターフェイス	RS232インターフェイス/PS2インターフェイス/USBインターフェイス	
外形寸法(本体のみ)	71.0mmX170.1mmX66.0mm	
重量(本体のみ)	約119g	
動作温度/保存温度	0℃～+50℃ / -40℃～+70℃	
湿度	5～95%(但し結露無きこと)	
耐衝撃	コンクリート床上1.5mから数回の落下に耐える	
保護構造	IP42	
安全規格	国際規格	IEC60950-1
	欧州	EN60950-1
	カナダ	CSA C22.2 No 60950
EMC	国際規格	CISPR 22-B
	日本	VCCI-B
	欧州	EN 55022-B
	豪州 /NZ 規格	AS/NZS CISPR 22-B
	カナダ	ICES-003-B
LED	国際規格	IEC60825-1 Class 1 LED Products

15. 外形寸法図